

緑陰通信

News from the shade of trees

※緑陰通信は県立図書館のホームページ (<https://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>) からご覧いただけます。

目次

■巻頭言	P1
■若山牧水生誕140年記念講演「牧水の歌を読みなおす」	P2
■対面朗読サービス始めました	P2
■「あったらいいな!こんなまち〜みらいをつくるこどもの本〜」	P3
■児童図書室で貸出の多い絵本 ベスト10	P3
■ウィキペディアタウン in 延岡市	P4
■青少年コーナーでPOPを募集しています	P4
■文化講座(3回)と特別展(2回)の開催について	P5
■ひなた電子図書館電子書籍サービス(KinoDen・LibrariE)のご紹介	P5
■緑陰コンサート〜レコードコンサート〜	P6

巻頭言◆館長より

「知りたい、学びたい、楽しみたい」のニーズに応える図書館

宮崎県立図書館長 田代暢明



このたび、館長に就任しました。よろしくお願いいたします。

さて、皆さんは、「図書館」といったらどんなイメージを思い浮かべますか……。私の認識は、「本を読んだり、借りたりするところ」でした。ところが、県立図書館では、利用者のニーズに応じて様々な情報提供のサービスを行っており、就任後にその多さに驚いた次第です。そこで、当館の主な取組を紹介させていただきたいと思います。

当館では、果たすべき役割などを明確にするため、「宮崎県立図書館ビジョン」を策定し、基本目標として、「人の暮らしを豊かにし、地域の課題解決に役立つ図書館」を掲げています。また、「図書館の図書館（全県ネットワーク）」、「みやざきの資料（地域資料）の拠点」、「調べたい、学びたいに資料・情報・知識で応える」という3つの行動指針を定めています。

5つの観点から具体的な取組を紹介しますと、まず、「読む」観点で、令和6年9月から「ひなた電子図書館」をスタートさせ、いつでもどこでもインターネットを使って電子書籍の閲覧（主に学術書や専門書）や貸出（主に実用書や読み物）ができるようになりました。また、紙の本では、居住地の市町村立図書館（室）を通して借りる「県立図書館の本お取り寄せサービス」や、へき地の学校、特別支援学校等へ貸し出す「やまびこ文庫」、読み聞かせボランティア団体等へ貸し出す「団体文庫」も実施しています。

「見る・聴く」観点で、映画等の映写会の「図書館シアター」、生演奏やレコードによる「緑陰コンサート」、子どもたちに読み聞かせを行う「おはなし会」を開催しています。

「学ぶ」観点で、本県にまつわる文化講座・古文書講座を開催しており、今年は若山牧水生誕140年を記念し、牧水研究の第一人者で当館の名誉館長の

伊藤一彦氏と東郷町生まれの歌人吉川宏志氏をお迎えしての講演会「牧水の歌を読みなおす」の開催や、特別展「『若山牧水』〜歌人・牧水、の誕生〜」を行います。

「相談する」観点で、調べものを支援するレファレンスサービスや、「健康相談会」、「法律相談会」、「若者の就労相談会」といった各種無料相談会も随時開催しています。

「楽しむ」観点で、こどもの読書週間や秋の読書週間の企画展、NHK大河ドラマの全国巡回展といった様々な展示を年間通して行っています。

このほかにも、読みやすい「大活字本コーナー」、来館が困難な障がいのある方への「郵送貸出」、読むことが困難な方への「音声録音図書の貸出」や「対面朗読」など、年齢や障がいの有無に関わらず本が読めるバリアフリーサービスも実施しています。

当館のサービスや各種イベントの情報は、ホームページやフェイスブック、インスタグラムをご覧ください。

本県は、「読書県みやざき」づくりを推進しています。当館としても、県民の皆様の読書活動を支援したいと考えており、利用者の「知りたい、学びたい、楽しみたい」といったニーズに応えるべく取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いしますとともに、ご利用を心よりお待ちしております。



若山牧水生誕140年記念講演「牧水の歌を読みなおす」

開催日：令和7年7月6日(日)

今年は、郷土の歌人若山牧水生誕140年の年に当たります。それを記念し、若山牧水研究の第一人者でもあり、当館の名誉館長でもある伊藤一彦氏と東郷町生まれの歌人吉川宏志氏のお二人を講師としてお迎えし、7月6日(日)に講演会を行いました。

お二人の軽妙なやり取りやユーモアを交えた話に会場も盛り上がり、牧水の歌はもちろん、その人柄や生き方の魅力についても学ぶことができました。また参加者のみなさんの「好きな牧水の歌とその理由」や「講師の方への質問」を事前に募り、それに対して講師のお二人からコメントをいただきました。参加者のみなさんが目を輝かせながら話を聞き、熱心にメモを取る姿が大変印象的でした。

牧水をより身近に感じ、郷土愛がますます深まる濃密な講演会を実施することができたと思っています。これからもみなさんの「知りたい・学びたい」を支える図書館として役割を果たせるよう努めてまいります。



対面朗読サービス始めました 令和7年5月開始

読書をしたいけど、「自力で読むことは難しい」と感じていらっしゃる方はいませんか。そのような方に
対面朗読サービスの利用をお勧めしています。

次のような場合に対面朗読サービスを利用できます。

視覚障がいやその他の障がい、高齢による視力の低下などにより、活字による読書が困難で読み手(朗読者)による朗読(対面朗読サービス)を希望される場合

対面朗読サービスの利用に関して

- 利用希望日の2週間前までに「対面朗読サービス利用申込書」を来館、郵送、ファクシミリ、電子メールのいずれかによって提出してください。
- 利用できる時間帯は、開館日(水曜日・土曜日・日曜日・祝日を除く。)の午前10時から正午までと午後1時から午後4時までです。
※朗読者との調整が必要となりますので、日時はご希望に添えない場合があります。
- 利用は1日1回とし、1回の利用時間は2時間以内です。
- 1回を複数人で利用する場合はお二人まで申込可能です。
- 対面朗読サービスで朗読する資料は宮崎県立図書館所蔵の資料又は利用者の方が持参された資料です。
- 朗読の録音・録画はできません。
- 申し込み後に利用をキャンセルされる場合は宮崎県立図書館情報提供課 情報提供担当(4番カウンター)へ連絡をお願いします。
- 感染症予防のため、朗読者はマスクを着用させていただきます。
できましたら利用者の方もマスクの着用をお願いします。



ご不明な点は、4番カウンター TEL：0985-29-2972 まで
お気軽にお問合せください。



期間：令和7年4月22日(火)～5月11日(日)

今年度のこども読書週間では、「あったらいいな！こんなまち～みらいをつくるこどもの本～」というテーマで、4月22日から5月11日まで企画展示を行いました。子どもたちが、自分たちの住む地域に関心を持つきっかけとなるように、町をテーマにした絵本や、災害対策、バリアフリー、地域産業についてわかりやすく紹介した児童図書などを展示しました。参加型展示「まちをつくろう！」では、子どもたちが、自由な発想で色紙を貼り合わせて、にぎやかな「まち」が完成しました。

特別おはなし会「外国語で絵本を楽しもう！」では、宮崎公立大学の外国語読み聞かせ部の学生に、絵本や紙芝居などを英語で読んでもらいました。子どもたちも大いに盛り上がり、楽しいおはなし会になりました。また、今年度も「しゅわでおはなし会」を実施しました。『おおきなかぶ』や『おべんとうバス』など、親しみやすいおはなしを簡単な手話劇で紹介し、参加者に手話を体験していただきました。

ワークショップ「点字でしおりをつくろう！」では、県立視覚障害者センターのご協力のもと、参加者に点字で自分の好きな言葉を打つ体験をしていただきました。手話や点字に触れる機会を通して、様々な表現方法があることを、子どもたちにも知ってもらうことができたと思っています。

今後も、子どもと本をつなぐための様々な取組をするとともに、障がいの有無に関係なく誰でも読書を楽しめるサービスを提供していきます。

児童図書室で貸出の多い絵本 ベスト10
(2024.4.1～2025.3.31)

順位	資料名	著者名	出版社	出版年	貸出冊数
1	はらぺこあおむし	エリック・カール／さく	偕成社	1989	106
2	わたしのワンピース	にしまきかやこ／え・ぶん	こぐま社	1969	102
3	おふろだいすき	松岡享子／作	福音館書店	1982	100
4	11ぴきのねこ	馬場のぼる／著	こぐま社	1967	95
5	おおきなかぶ	内田莉莎子／再話	福音館書店	1980	94
6	しろくまちゃんのほっとけーき	わかやまけん／著	こぐま社	1972	93
7	バムとケロのもりのこや	島田ゆか／作・絵	文溪堂	2011	89
7	バムとケロのおかいもの	島田ゆか／作・絵	文溪堂	1999	89
7	バムとケロのにちようび	島田ゆか／作・絵	文溪堂	1994	89
10	100万回生きたねこ	佐野洋子／作・絵	講談社	1977	88

ウィキペディアタウンとは・・・

地域の文化財や名所などをインターネットのフリー百科事典『ウィキペディア』に載せて人々と地域情報をつなげ、魅力を共有したり活性化に取り組んだりしている町のこと。それから転じて、文化財や名所などを訪れて地域の歴史や文化を調べ、ウィキペディアの記事を編集するイベント活動も「ウィキペディアタウン」と呼ばれるようになっています。

県立図書館では、令和5年度の椎葉村に引き続き、令和6年度も県内有数の城下町・延岡市を舞台に「ウィキペディアタウン in 延岡市」を2月22日(土)に開催しました。

講師には前回同様、全国各地でウィキペディアタウンの取組を行っている是住久美子氏（愛知県田原市図書館長）とMiya.m氏（ベテランウィキペディアン）をお招きし、ウィキペディアの記事作りについてご指導いただきました。

当日は、午前中に今山大師寺、延岡城跡、延岡城・内藤記念博物館を見学して、史跡や歴史について説明を受けました。午後からは、カルチャープラザのべおか（延岡市立図書館）にて3班に分かれて、延岡市の歴史に縁のある「延岡城」「今山大師寺」「天下一薪能」の3つをテーマとした、記事作りのワークショップを行いました。ウィキペディアの編集は誰でもできますが、記載した情報の出典を明記すること等、細かなルールがあります。そのため、参加者は事前に用意した図書館の文献資料を活用し、信頼できる情報の掲載を心がけることで、充実した内容の記事を作成することができました。



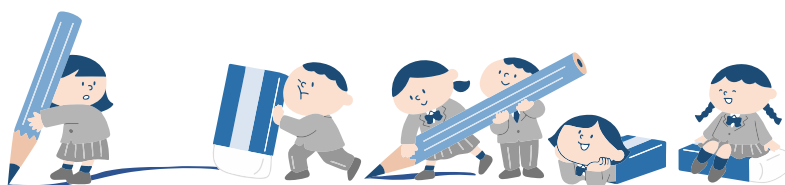
初めて参加される方が多かったものの、ウィキペディアの編集を通じて地元・延岡市について見識を深められたことや、記事作りの達成感などといった感想が多く寄せられました。

● 青少年コーナーでPOPを募集しています

ティーンズ（13～19歳）限定で、本のPOP（本を紹介するためのメッセージカード）を募集しています。

テーマは『好きな本・おすすめの本』です。当館1階閲覧室内の青少年コーナーに、POPの見本や記入用の用紙を置いてありますのでご利用ください。作ったPOPは回収ボックスに入れていただくか、カウンターまでお持ちください。カウンターに持ってきていただいた方には、職員手作りのしおりをプレゼントしています。あなたのお気に入りの1冊をみんなにオススメしてみませんか？

オススメ!



文化講座 (3回) と特別展 (2回) の開催について

第1回文化講座は、長友禎治氏（日南市生涯学習課文化財係）に「平部嶠南^{きょうなん のこ}が遺した歴史資料」と題して講演（9/20（土））していただきます。幕末期に飢肥藩家老^{おびはん}として藩政に寄与したほか、明治期には歴史書や地誌の編纂などにも尽力し歴史家としても功績を残した嶠南を、特別展「平部嶠南と日向地誌^{ちし}」（会期；9/20～10/19）でも関連してご紹介します。

第2回は、岩切康二氏（宮崎野生動物研究会）に「宮崎の野生動物」と題し、県内に生息するニホンザル、ニホンジカ、コウモリ類、アライグマなどの野生動物たちの生態と現況を紹介（10/25（土））していただきます。

第3回は、伊藤一彦氏（歌人、当館名誉館長）に「シン・若山牧水」～牧水の新たな魅力～と題して講演（11/22（土））していただきます。同時期には、牧水の生誕140年を記念し「若山牧水」～歌人・牧水、の誕生～という特別展（会期；11/8～12/7）を開催する予定で、講演と展示の双方で牧水の新たな魅力を県民のみなさんにご紹介します。

なお、文化講座（3回とも当館2階研修ホールにて先着100名、申込み不要で13：30に開演し2時間）と特別展（当館2階特別展示室にて）の詳細は、当館ホームページやチラシ等をご参照ください。



昨年度の文化講座の様子



昨年度の特別展の様子

ひなた電子図書館 電子書籍サービス (KinoDen・LibrariE) のご紹介

当館の貸出利用券をお持ちの方なら、スマートフォン、タブレット等で、いつでもどこでも電子書籍を読むことができます。文字の拡大機能や読み上げ機能など、紙の本にはない電子ならではの読書サポート機能を備えた書籍やオーディオブックもありますので、便利に読書を楽しめます。詳細は当館ホームページをご覧ください。

- * 利用料は無料ですが、インターネット通信費は利用者負担になりますのでご注意ください。
- * 貸出利用券は、来館だけでなく、郵送、オンライン（県の電子申請システム）でも作成できます。



調査研究に役立つ専門書、教養書、辞典などの学びに役立つコンテンツが充実した閲覧型サービス



小説、子ども向けの本、実用書など気軽に読書に親しめるコンテンツを豊富に揃えた貸出型サービス



緑陰コンサート ～レコードコンサート～

県立図書館では、県民のみなさんが様々な音楽に親しみ、多様な文化に触れる機会となるよう、年に2回「緑陰コンサート」を実施しています。第1回は、6月22日(日)にレコードコンサートを開催しました。

今回は、テーマを「『今』聴きたい 懐かしのレコード」とし、2025年にメモリアルイヤーを迎えた作曲家の曲や来館された皆様からのリクエストが多かった曲等をセレクトしてお届けしました。

参加された方からは「いい音響、いい選曲で聴けたのでよかった。」「普段デジタル音源しか聴いていないので、アナログの音も良いと思った。」「といった嬉しいお声を多くいただき、大盛況で無事に終えることができました。ご来場いただき、誠にありがとうございました。

なお、第2回は、小さいお子様から大人の方まで楽しめる生演奏のファミリーコンサートを11月1日(土)に予定しております。

県立図書館ではほかに、名作や人の生き方を考える映画を鑑賞する「図書館シアター」や16ミリフィルムに記録された、昭和の宮崎県を鑑賞する「メモリアル宮崎」など様々な視聴覚事業を計画しています。いずれも入場無料ですので、ぜひ、お気軽にご参加ください。

各視聴覚事業の詳細については、当館ホームページやSNS等で随時お知らせしていきます。



レコードコンサートの様子

【図書館シアター】

日 付	上映作品
8月20日(水)	あの日、僕は戦場で 一少年兵の告白ー
10月15日(水)	52ヘルツのクジラたち
12月10日(水)	星に語りて～Starry Sky～

【メモリアル宮崎】

*フィルムの状態等により作品が変更になることもございます。

日 付	上映作品
9月24日(水)	宮崎県政だより No.3
1月28日(水)	動く図書館やまびこ号

【緑陰コンサート】

日 付	内 容
11月1日(土)	生演奏コンサート

特別整理期間のお知らせ

令和7年9月17日(水)～9月19日(金)
令和8年2月17日(水)～3月1日(日)

県立図書館では、蔵書点検と図書館システム更新作業を行うために特別整理期間を定め、連続した休館日を設けています。

皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力の程よろしくをお願いいたします。



県立図書館の資料の購入には、宝くじの収益金の一部が使われています。
宮崎県



宮崎県立図書館公式SNS



Facebook



Instagram

ご利用案内

開館時間 ■一般閲覧室：9:00～19:00
■児童図書室：9:00～17:00
休 館 日 ■毎週月曜日(祝日の場合翌日)

編集・発行

●宮崎県立図書館

所 在 地 ■〒880-0031 宮崎市船塚3丁目210番地1
T E L ■0985-29-2911 (総務・企画課)
F A X ■0985-29-2491 (総務・企画課)
HPアドレス ■<https://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>



ホームページ